



2023年12月22日

各 位

会 社 名 株式会社ディー・エル・イー
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 CEO 小濱 直人
(コード番号：3686 東証スタンダード)

問 合 せ 先 執行役員 CFO 小澤 大輔

通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年6月20日に公表した2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2024年3月期 連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,200	100	100	160	3.76
今回修正予想(B)	2,100	△330	△330	△230	△5.41
増減額(B-A)	△1,100	△430	△430	△390	
増減率(%)	△34.4	—	—	—	
(参考)前期実績 (2023年3月期)	2,020	△344	△336	△582	△13.71

2. 修正の理由

前回予想との乖離の主な要因を記載いたします。

IP・コンテンツ・ブランド関連において、アニメーション制作の需要は高まっており引き合いも強いものの納品まで時間を要すること、WEBTOON制作の案件化が当初予想より遅れていること等、映像及びコンテンツ制作受託が不振又は翌期にずれ込む見込みであること、及び K-POP アーティストプロデュース案件の先方都合又は要因によるキャンセル等、見込んでいた海外セレブを活用する案件の一部に失注が生じたことなどから、売上高は前回予想数値と比較して、6億円程度下回る見通しとなりました。

セールスプロモーション関連において、継続的に受注している大型案件について、2023年11月8日に公表した「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載させていただいたようにクライアントに損害を生じさせたことから、各種調整に時間を要し、当期の受注が縮小したこと、毎年度末に見込まれている官公庁案件の見通しが不確実なこと、及び営業を積極的に行い一定の手応えはあったものの、結果として大口案件の獲得には至らず、マーケティング事業の収益化が大幅に遅れたことなどから、売上高は前回予想数値と比較して、5億円程度下回る見通しとなりました。

販売費及び一般管理費においては、予算から大きく乖離する支出等はないものの、中長期成長に向けた新規事業に対する一定の開発支出は継続しており、一定の効果は出ているものの、減収の影響が非常に大きく、及び2023年11月8日に公表した特別損失の影響もあり、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想数値と比較して、大幅に下回る見通しとなりました。

(注) 予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合があります。

以 上